

# とままえ

1

No.581



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち



## 謹賀新年

### まちひと百景

#### お餅つき

町内の保育所で毎年実施されているお餅つき。白と杵を使って餅つきをする家庭も少なくなってきている。

このような昔ながらの伝統・文化を現代の子ども達が体験することは、単に餅をつくことだけでなく、農家の方が丹精込めて作ったお米を大切に作る心や様々な人との接することが貴重な体験となっており、そのことが子ども達の成長の糧になるに違いない。

- 森町長新年あいさつ…2
- 苫前町議会だよりNo.78…3~10
- 高校講座・ふるさと教育セミナーほか…11
- ミニバレー大会ほか…12
- 読書感想文表彰式ほか…13
- 体力テスト会ほか…14
- 学びの広場…15
- 国民健康保険ガイド…16
- 国民年金・川柳…17
- すまいる情報…18~19
- ちびっこギャラリー…20



#### まちの人口

人口/3,710人 (男/1,733人:女/1,977人)  
世帯数/1,658世帯 (11月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

# 町政新改革「町政は経営なり」の理念に 基づくまちづくりをめざして



苫前町長 森 利 男

皆様、新年明けましておめでとうございます。お健やかに新春をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃からそれぞれのお立場でご活躍をいただき、ご指導ご支援をいただき心から厚くお礼申し上げます。

昨年は政権が変わりました。新政権は国民の生活が第一という新しい優先順位のもとで進められておりますが、このようなことから今後は特に地域社会の最前線で住民サービスを担う市町村の役割と責任は、これまで以上に大きいものと思っております。

まちづくりの原則は、「自分たちのまちは自分たちでつくる」ことであり、そのためには小さな行政のほうに適していると思っております。

従ってこれからの時代は市町村が日本を支えられるような存在価値を持つことであり、今までより以上に民間の感覚でまちを経営する体制に移行し、行政改革・財政再建を進めていくこととしていきます。

住民に身近な自治体が国に縛られず住民のニーズに合った行政サービスを提供できるようにすることが正しい方向であると思っております。

昨年の本町の一次産業は、農業においては天候不順から大変残念な結果になっており、特に米の作況指数は全道平均八九が、管内は八七と言う結果に終わりました。また、漁業については後半やや持ち直してきてはいましたが、今までは厳しい結果となったところがあります。今まで五年連続で豊作豊漁だっただけに大変残念な結果となりました。

私はいつも思っておりますが、本町の一次産業である農林漁業については、単なる産業ではなく、命の源を生み出し、かけがえのない自然環境を守り育てる生業（なりわい）であり、未来につながる持続可能な暮らしを創る大切な産業であると思っております。

更に商工業については、昨年の後半から失業者も増え、ものが売れなくなりデフレが加速し歴史的減少が続きました。大変大きな問題であり本町としてもできる限りの支援をしながら何とか活性化をはかるべく進めてきたところであり、今年も国の状況を見ながら、消費を刺激（誘導）させる方策や地域雇用情勢を踏まえた雇用対策など、国や北海道と連携し、しっかり対応していくこととしております。

さて、今年の町内の主な事業等については、第三种苫前漁港は引き続き拠点漁港としてモデル事業により国直轄で整備が進んでいきます。また、三毛別川の改修は終了し、番屋の沢川、古丹別川の整備、更には道道力登九重線も北海道の事業で着々と整備が進んでいきます。力登漁港の整備も北海道と具体的につめていくところがあります。

町事業については古丹別市街の下水道整備や住宅改修並びに下水道接続助成、合併処理浄化槽助成、更には難視地区の地デジ対策や牧場整備の計画づくりも行う予定であります。定住対策を含め福祉や教育対策等につきましても事業展開しながら対応することとしており、本町の将来のまちづくり

により影響を与えていく対策を進めることとしていきます。

これからのまちづくりは、町民の皆様が「自分たちのまちは、自分たちで守っていこう」という意識が生まれてくるかどうか、市町村（基礎自治体）にとつて最も重要であります。例えば、年一度のお祭りを住民同士が結束し準備することや、町内の草刈りやすでに実施していただいておりますが町内会館屋根のペンキ塗りを皆で一緒に行う等、かつて我が国の市町村では当たり前であった生活スタイルを取り戻すことによつて、結果としてまちの経済を活性化させることに役立つと思われれます。

そのようなことから本町のもつ豊富な地域資源を最大限に引き出す産業力と地域が一体となり信頼を高める地域力と更には安心で活気あふれる環境をつくる定住力をつかり組み合わせ、これまで築き上げてきた信頼関係を大切にしながら、個性と魅力にあふれた質の高いまちをしっかりと確立していくこととしていきます。

現在本町は、町職員の給与も減額しながら町の事業を展開、辛抱して今までの借金の繰り上げ返済をしたりして町財政のたて直しを行っております。できるだけ早い時期に行政のスリム化を図るべく頑張っているところがあります。

地域にはそれぞれ個性があり、個性があるから魅力があり、おもしろくまた、考え方も違つてくると思います。このようなことから町財政の将来予測等を行い、「町政は経営なり」の理念に基づき、小さいまちといえども高い志を持ち、そこに自治の灯をともし、活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望とそれに向かうたくましさをもつてがんばっているところがあります。

本年は皆様にとつてご健勝で幸多い年でありますようご祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援ご指導等を賜りますようお願い申し上げます。

# 新年あいさつ

## 新春を迎えて

苫前町議会議長 星野 恭 司

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃から議会活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型インフルエンザウイルスが世界中で猛威をふるい、防疫機能の発達している日本でさえ多くの感染者が発生し、本町においても学校が閉鎖されるなど、ウイルスの驚異をまざまざと思ひ知らされ、危機管理体制の重要性を再認識したところがあります。また、六月から八月にかけての天候は低温、多雨、寡照と近年にない異常気象に見舞われ、農作物の作況に大きな打撃を受けたところであり、ウイルス・天候と目に見えない相手との戦いがSF小説ではなく、まさに現実的になってきたような気がしてなりません。さらに追い打ちをかけるように政府が年末に発表した「デフレ認定」は、まさに金融危機による米欧消費の激減が日本国内経済を直撃し、一見消費者にとっては歓迎すべき低価格であります。価格競争にあえぐ企業が賃金や雇用の削減に踏み切ると、家計は圧迫され消費を絞り、景気をさらに悪化させる「悪循環」の危険をはらんだものであることを認識しておかなければなりません。

さて、昨年の管内議会議員研修会で、非常に心に残るお話をお聞かせいただきましたので、その一端をご紹介させていただきます。講師は赤平市にある電機会社の専務でありました。演題は「思うは招く、夢があればなんでもできる」と題し、講師の幼少時から現在のロケット開発に至るまでのお話ですが、「人の可能性が、どうせ無理」という言葉で奪われたい社会を作りたい」とのことでした。その語りは情熱的で、だれもが引き込まれた一時間三十分であり、大人が何気なく使う「どうせ無理」「そんなことできるわけがない」この言葉で多くの子供達の夢が打ち砕かれていたことを痛切に感じさせられました。

今まさに、地方自治体がおかれている厳しい状況を乗り越えるためにはこの「どうせ無理」という言葉をなくし、「どうすれば」「こうしたら」の諦めない挑戦し続ける気持ちこそが大切ではないでしょうか。産業や自然豊かな苫前町に、住んでいる我々が自信を持ってどうして町外の人に町を売り込むことができるのでしょうか。

今年は何れも「どうせ無理」という言葉を本町からなくし、小さな町の大きな挑戦を合言葉に、町・議会・住民が一体となって「知恵」を出し合い、町の活性化に取り組み決意であります。

どうか今年も、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとりまして幸多き年でありますようお願い申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。

## 本年も宜しくお願いいたします



議長 星野恭司  
副議長 林 秀行

総務文教常任委員会  
委員長 阿部俊一

青木幸隆  
渡部一男  
小倉哲志

産業厚生常任委員会  
委員長 間宮英明

西 大志  
猫島 優  
田沢 收

### 議会事務局

事務局長 池田文敏  
総務係長 長澤まゆみ  
書記(併任) 成川 敬  
" 宮野 亘  
" 今野 雄一

苫前町議会

2010

議会報発行特別委員会

# 議会だより

# 1

No.78

委員長	猫島 優
副委員長	西 大志
委員	青木 幸隆
	渡部 一男
	小倉 哲
	田沢 志收

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

## 平成21年 第4回定例会

### 一般会計補正額 1億2,760万6千円を追加

### 総額 38億6,045万8千円

平成二十一年第四回定例会は十二月十六日開会され、町長提出の予算五件、条例三件、その他四件、議員提出の意見案二件を原案通り可決した。決算審査特別委員会に付託された平成二十年度苫前町各会計決算は認定され、同日閉会した。

### 議案の主な内容

#### ○補正の主なもの

- ・ 財政調整基金積立金 1億5,927万5千円減額
- ・ 後期高齢者医療療養給付費負担金 271万3千円増額
- ・ 苫前厚生病院移転新築整備資金借入償還金等補助金 2億3,268万0千円増額
- ・ 苫前厚生クリニック経営損失補償金 4,845万1千円追加
- ・ 子育て応援特別手当支給事業 304万5千円減額

- ・ 苫前町保育料徴収条例の一部を改正する条例
- ・ 苫前町予防接種費実費徴収条例を廃止する条例
- ・ 社会保険の保険料等に係る延滞金を軽減するための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・ 苫前町介護保険特別会計補正予算
- ・ 苫前町下水道事業特別会計補正予算
- ・ 苫前町国民健康保険特別会計補正予算
- ・ 留萌広域行政組合規約の変更について
- ・ 留萌広域行政組合の解散について
- ・ 留萌広域行政組合の解散に伴う財産処分について
- ・ 北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の数の増減について

### 議案の質疑

質 西 議員

町税について、それぞれの項目が減っているが、想定内であったのか。現課ではどう捉えているのか。

介護予防サービス給付費七五〇万円の増は、どの部分か。

後期高齢者人間ドックの助成は長寿健康増進事業にあてはまるということだが、何か制約はあるのか。

下水道事業の、クイックプロジェクト要件を満たなかった要因は。

答 川村総務財政課長補佐

町税等について、かなり減ることを想定したが、予想以上に減少したものである。

答 小丹保町民課長

当初、四十名ほどの要支援者が五十二名まで膨らんだことによるものである。

後期高齢者の人間ドックの制限は特にない。

答 加藤建設課長

一般家庭の普及がなかなか進まなかったことが主な要因である。

質 阿部議員

AEDでメーカーにより不具合が生じられているが、本町の各施設に設置したAEDはどこメーカーか。

後期高齢者人間ドックで二〇万円の予算を計上しているが、一人当たりいくらの助成になるのか。

答 山田総務財政課長

本町で導入したAEDは、フリップス社製の機器で、安心して使えるという認識をしている。

答 小丹保町民課長

一人当たり二万円、十名分である。

お詫び

前回の議会だより第七十七号の三ページの「新型インフルエンザについて」の質問を行った議員の氏名が「青木議員」と記載していましたが、「阿部議員」の間違いでしたので、ここに訂正しお詫び致します。

# 一般質問

猫島 優明・西田 大志 4氏が登壇！  
宮 英明・田 沢

## とままえ温泉ふわつとの今後について



猫島 議員

株式会社苦前町振興公社解散の経緯と、とままえ温泉ふわつとの今後の位置づけについて、  
一、苦前町振興公社の解散に至った経緯は。  
二、平成二十四年度以降のとままえ温泉ふわつとの位置づけは。

## 答弁 森 町長

一、苦前町新日本海地域交流センターは、地域における健康増進など福祉向上、世代間、地域間交流による郷土意識の高揚や人材育成、活力と魅力あるまちづくりの推進を図るために、住民の利活促進、公共の福祉に寄与することを、最大の設置目的として定めている。

また、設置の管理形態のあり方としては、住民サービスの向上及び管理経費の削減を図り、施設の設置目的を、効果的、かつ効率的に、達成できるものと判断し、議会の同意を得て、指定管理者制度を導入し、苦前町

振興公社に、その管理、運営を委託したところである。しかし、苦前町振興公社における経営のあり方や、施設の管理のあり方について、検証及び総括をした結果、社会情勢の変化による経営の悪化もあり、売上に対する人件費比率が高いことや、その他販売費を含めたコストを見直す必要があったこと、さらには、営業利益で常に赤字体質であったことなどの要因があった。

今後、苦前町振興公社がとままえ温泉ふわつとを管理、運営するにあたっては、解決しなければならぬ多くの課題があるとともに、資本金の範囲内である一億円での営業が難しいものと判断し、資本金が枯渇する前に、指定管理を町に返還したところである。現在、苦前町振興公社の解散を受け、今後は、清算時決算報告書にかかる承認決議をいただくよう鋭意、事務を執り進めている。

二、平成二十四年度以降のとままえ温泉ふわつとの位置づけにつきましては、地域住民の雇用が促進されるとともに地域経済への効果が期待できるように、引き続き指定管理者制度を活用しながら、町民の皆さんに、少しでも喜んでいただけるような、賑わいのある施設づくりを目指し、継続運営して参りたいと考えている。

以上、二つの件につきまして、今後、地域における新年総

会やまちづくり懇談会、さらには、各種団体が集まる機会など、あらゆる機会を通じて、町民の皆様にご理解をいただけるよう、説明していきたい。

## 政策決定プロセスについて



西 議員

近年、たくさんさんの課題や問題があり解決方法や推進方法を模索し今日に至っている。政策決定においては『苦前町まちづくり基本条例』を遵守し、決定までの過程を町民・議会・町とが、情報や意識の共有がなされるべきである。そのための仕組みづくりに着目し、一年間の執行方針や事業・予算の推進管理上の基礎として、行動すべきではないか。そこで、

一、各分野での事業や予算の情報提供をしっかりと行い、その際、アンケートなどの意識調査を行うなど考えられないか。

二、調査などを行った場合、結果を素に取り組むべき課題や調査すべきことや説明責任が伴うものなど、町民参画のもとで推

## 答弁 森 町長

進の方向を協議する組織が必要ではないか。

町は、住民の共有財産である『まちづくりに関する情報』をわかりやすく説明する責任を果たし、民意を把握し町政に活かさなければならぬと考えている。重要な施策を立案し決定するときは、生活者である住民の皆さんの視点によるまちづくりを進め、自治の実現を目指している。

伝わりにくい具体的な内容をわかりやすく説明した『政策・予算説明概要書』の発行、意見交換の場としてまちづくり懇談会、まちづくり住民説明会、アンケート調査やパブリックコメントを実施し住民参加に努めてきた。

一、守り育てていくことを基本に考え、住民の主體的な参加をより一層求め、得られた意見を各施策に反映したい。アンケートなどの意識調査を行うことにおいては職員の見識改革や資質向上を図ることが重要で、これらを踏まえ積極的に対応していきたい。

二、ワーキンググループの設置や意見交換会の開催など、積極的な協議の場の創設に向けて検討する。

株式会社苦前町振興公社  
の破綻解散について



間 宮 議 員

株式会社苦前町振興公社の破綻解散に伴い、次の四点についてお聞かせいただきたい。

- 一、苦前町振興公社の破綻解散にあたって、町民の皆様への説明や謝罪がないが、今後どうするのか。
- 二、サポーターの会の資金の目的外運用である振興公社の赤字補填四〇〇万円を妥当とする根拠は。
- 三、授受していた取締役の出資金（二名分）一〇〇万円を何故返還したのか、またその理由は。
- 四、サポーターの会の資金の目的外運用と取締役の出資金返還についての整合性と妥当性をどう示すのか。

答 弁 森 町 長

私は町長という立場と苦前町振興公社の社長であったという二つの立場であるが、議会における答弁としては、町長という立場で答弁させていただきます。

- 一、町民の皆さんに喜んで利用していただく施設を目指していたが、力及ばず振興公社を解散するに至ったことを深くお詫びするとともに、新指定管理者と連携を図りながら住民憩いの場であるとままえ温泉ふわつとをしつかりと守っていききたい。
  - 二、私もサポーターの会の一会員であるが、会には会長や副会長の役員もおり、会の規約により総会において決議を必要とする項目であり、正規の手順により総会で決めて進めていると認識している。
  - 三、出資金については二名の方より五〇万円ずつ計一〇〇万円を「増資の場合に限り」ということで公社役員に預けられたものであり、振興公社会計上の公金ではない。公社役員から報告を受け、取締役会で取り扱いを協議した結果、増資に当たっては一〇〇万円を町から出資金として仰ぐこととなるが、町財政を考慮した場合に住民一丸となり財政健全化に向けた取り組みを展開しており、公社監査役と相談し、「増資すべきでない」との結論に達したため返金したものである。このことについては、株主総会で詳細に説明し、了承されていると認識している。
- 振興公社解散に至った経緯などについては、今後開催される地域の新年会やまちづくり懇談会更には各種団体が集まる機会

を通じて住民の皆さんにご理解いただけるよう説明して参りたいと思う。



地上デジタル放送  
への対応について



田 沢 議 員

平成二十三年七月二十四日で、地上デジタル放送に完全に移行することは、テレビ等で周知されており町民のほとんどがご存じのことと思う。

先の総選挙において民主党政権が誕生し、来年度予算編成に伴う「事業仕分け」により「地上

デジタル関連事業」も事業仕分けの中にあつたように記憶している。

現代社会で「車のない家庭」はあつても「テレビのない家庭」はないほど、テレビは私たちの生活に密着した生活必需品となつており、テレビから情報を得たり、高齢者などは時代劇などのドラマを楽しみに生活している方々が多々いるやに聞いており、それらが視聴出来なくなるとは大変辛いものがある。

- 一、今後事業の見直しや予算縮小も予測される中、いわゆる弱者と言われる「生活保護者」や「低所得者」更には一般住民を対象とした国の助成制度について、現在わかっている範囲でお知らせ願いたい。
- 二、すでに地デジ化を見込みデジタルテレビやチューナーを購入している住民も多くいるが国の助成制度とは別に町独自で助成する考えはあるのか。

答 弁 森 町 長



一、共同アンテナ設置の支援や経済的弱者を対象とした簡易

チューナーを無償で給付する支援を行っている。無償給付要件として、生活保護世帯、障がい者がいる世帯で全員が市町村民税・非課税措置を受けている世帯などでNHK受信料が全額免除されている世帯が対象で、本町では約三〇世帯が対象。支援実施センターが対象世帯を訪問・設置し、必要によりアンテナの改修工事を行う。申し込み受付はアナログ放送が終了する平成二十三年七月まで行う。

二、町独自の施策として、高齢者世帯に対する簡易チューナーの購入助成に関わる支援制度が考えられるので、制度設計を含め積極的に検討するとともに、本町全域が地上デジタル放送視聴可能エリアとなつたことから、今後、町民の皆様からの苦情などにしっかりと対応できるよう相談窓口体制の強化を進めていきたい。

# 平成20年度 決算認定

平成20年度各会計の決算は、10月27日、28日に決算審査特別委員会(林 秀行委員長)で審議されました。

委員会での質疑を要約して、お知らせします。

## 〔一般会計〕

**質 西 委員**

苦前厚生病院が診療所になって給付費等の関係、住民や患者の利便性や声をどうとらえているか。

**答 小丹保町民課長**

昨年五月一日をもって、診療所に変更になった。今のところスムーズに流れていると考えている。介護保険については、本町は介護1、2の方が多く今回は給付は伸びていない。

**質 西 委員**

医療充実に関して、乳幼児検診に小児科医がいなかったことで問題はなかったか。検診、ドックは厚生病院と連携を図るべきでは。

**答 小丹保町民課長**

小児科医を探すことができなかったが、特段問題なく健診は、スムーズに行われた。

町としては厚生連と連携を図りながら、よりよい医療を提供できるように、住民健康づくりに努めたい。

**質 阿部委員**

高齢者事業団運営補助金の中の訪問開拓員の人件費の目的は何か。

**答 小丹保町民課長**

事業団会員の増強を図り、事

業団を運営していくものです。

**質 田沢委員**

福祉灯油事業について町の負担は八十五万円程度でこの事業の効果どのように捉えているのか。

**答 小丹保町民課長**

冬の間、高齢者の方々は年金暮らしの中で、その灯油を払っているの、経済的には若干、潤ったと考えている。

**質 田沢委員**

二十年度の福祉灯油事業の効果を踏まえて、二十一年度を実施する考えはどうか。

**答 小丹保町民課長**

今現在で、実施する考えはない。

**質 西 委員**

牧場費について、近年色々な課題が出てきているが、どう捉えているか。

磯根資源づくりで、ウニの人工種苗の事業はどんな結果、成果が出ているか。

**答 伊藤農林水産課長**

設置後三十年余りが経過し、草地も荒廃してきている。近年は預託希望が増加傾向にあり、今後、預託頭数の増加に対し、可能な体制を確立し、ニーズに応えられる管理運営をしていきたい。

ウニの人工種苗放流事業は、放流された種苗の成長及び調査を

行い、放流ウニの増産を目的としており、二十年の調査結果では大きな成果はあげられていない。今後研究を継続したい。

**質 阿部委員**

生涯学習推進アドバイザー設置事業について、今後もこの事業は行うと考えているのか。

**答 泉 社会教育課長**

昨年度よりも数多くの成人講座を開催しており、数字で評価はできないが、住民の皆さんは、多く参加している。今後効果があるということを進めていく。

**質 猫島委員**

上平牧場について何時まで施設の増改築、草地改良をするのか。収容頭数ベースの見通しはどうか。

**答 伊藤農林水産課長**

事業は現在計画中で正式なこととは答えられないが、平成二十三年〜平成二十七年までの間、道営事業で予定している。頭数ベースの見通しは、冬期預託で二二五〇頭で考えている。

## 〔国民健康保険特別会計〕

**質 西 委員**

特定健診の健診活動はどれだけできたのか。

**答 小丹保町民課長**

一人でも多く受診して頂くため

PR活動、個別に電話で勧奨し実施してきた。受診率では計画数値として一年目で二五％(国保加入者)成果は二五、八五％、人数では三〇三名の受診者だった。

**質 西 委員**

受診者が健康に対して、少しでも意識を持つことが効果の表れだと思ふ。社会教育と連携することなどどう捉えているか。

**答 小丹保町民課長**

少しずつではあるが、住民に浸透してきていると判断している。

**答 泉 社会教育課長**

既に実施しているもので「寿いきいき教室」があり、保健師と社会教育事業を連携した。



寿いきいき教室の様子



決算審査特別委員会書類閲覧の様子

【介護保険特別会計】

質 田沢委員

職員の勤務状況で時間外の多さなど悪化傾向にある。代表監査委員からも、介護職員の待遇改善の必要があるという意見もあり、職員の増員という考えはあるのか。

答 小丹保町民課長

介護の必要な方と面談をし、聞き取り調査をしながら、毎月支援計画をたてるが、夜間勤務、残業が必要になってくる。事務の簡素化、振替休日等を使いながら、勤務をしている。

答 山田総務財政課長

新たな職員適正化計画を策定すべく準備を進めているが、部門別職員数の構造改革、庁舎内全体で適切な人員配置に合わせ検討していく。

質 田沢委員

介護はこれから高齢化社会を迎えて、ますます厳しく、忙しくなっていく部署なので、職員の健康を考えて、適切な人員配置をすべきと思う。

答 森町長

ケアマネージャーが少なく、悪循環であり、なるべく時間をしないように進めている。最終的には民間に委託するなど考えなければならぬと思っている。

【後期高齢者医療特別会計】

質 西委員

後期高齢者制度は、二十年度に始まり広報や説明などうまくいかなかった部分もあったのではないかとと思う。この制度が三年後どうなるのかという話もあるのだから、どんな課題があったか。

答 小丹保町民課長

時間的にないまま、変更など戸惑いがあったと認識している。一年間で目まぐるしく制度の改正があり、理解するのは難しい部分があった。

【下水道特別会計】

質 阿部委員

普及率を高めていくため、接続工事の補助事業を今後も継続する考えがあるのか。

答 加藤建設課長

来年度もリフォーム補助については、残す予定でいる。水洗化の現行の補助は、今のところ存続させなければ普及は進まないと考えている。

答 森町長

リフォーム助成は評判の良い事業である。景気対策の意味でも続けようと考えている。

質 西委員

苦前地区の普及が進んでいないということ、町の方ではどう捉えているのか。

答 加藤建設課長

最も大きい要素はやはり高額の費用がかかるということが一番の原因。水洗化にしたことで、利便性が高まることの理解度にギャップがあるということもある。

質 西委員

今年度町税の落ち込みが気になった。町税は全体予算の二〇％で、極めて国の動向に左右されていく。少子高齢化が進み、扶助費等は経常的に支出しなければならぬ。そこで税収をあげられるような産業構造をどう作っていくかということになる。思い切った産業施策が必要だと思う。今回の決算で、どんな課題があったのか。

答 山田総務財政課長

町税の落ち込みは、かなり落ち込んでいるような状況。要素は、人口の減少、少子高齢化、景気の低迷、一次産業においては作況、水揚げ価格の変動も落ち込んだ要素として認識している。

答 森町長

私は、現時点では大胆な展開をする時期になっていないと思う。本町は農協、漁協を中心としながら、一次産業の展開を積極的に実施している。

大胆な展開はできなくても、何とか底上げできないかということ、リフォーム助成、下水道の普及、人口定住、あるいは景気対策等々、予算の範囲でやっているのが実態である。実質公債費比率が二・三、一％で、この数値を一八％以下にできれば、もう少し大胆な展開ができるだろう。もう少し数値が落ちるまで、大胆な展開は控えながら進めているというのが実態である。

質 阿部委員

財政指標は徐々に改善しており、債務も減ってきて税の徴収も若干いい方向に進んでおり、町職員の努力の賜であると思っ

る。しかし、ふわたと、苦前厚生クリニック、町営牧場など、いろいろな問題もある。その中で若者交流センター指定管理料の積算でグレー的なものも含んでいるように思う。実際にこれを担っている高校後援会の苦勞を和らげるために、指定管理料の中身を精査しなくてはいけないと考えるがどうか。

答 竹内副町長

町財政については、実質公債費比率は十九年度決算で二・三、四％、二十年度決算で二・三、一％、前年度より〇・三％改善している。将来負担比率は九三・二％で、全道的に比較しても、決して悪い数値ではない状況である。

平成二十二年以降、広域葬斎場の建設、地デジ放送設備、上平模範牧場の整備など大型事業が予想されるので、今後においても投資的事業の抑制や行政経費の縮減に努め、町財政運営の早期健全化に取り組んでいきたい。

若者交流センターの指定管理については、町監査委員の監査が予定されていることから、監査委員の意見を遵守し、今後の指定管理に向けて対応を検討させて頂きたい。

【総括的質疑】



下水道工事の様子



# 委員会レポート

## 全員協議会

平成21年  
11月2日  
開催

①「ななかまどの館」に係る指定管理について

平成二十二年三月三十一日をもって指定管理の期間満了を迎えることから、四月一日より新たな指定管理者を公募するものである。  
選定方法Ⅱ公募型プロポーザル方式



ななかまどの館

## 全員協議会

平成21年  
11月26日  
開催

①旧児童会館及び町営住宅港団地の解体工事費の設計変更について

解体により生ずるコンクリート塊は、リサイクル法において再生利用を考慮していたが、北海道より現行の処理方法が建設リサイクル法に該当しないとの指導があり、処理方法の変更及び工事費の変更をするものである。

## 全員協議会

平成21年  
12月2日  
開催

①定額給付金の給付状況等について

給付人数 三、八〇五人  
給付金額 六、一一二千元  
未給付人数 六人  
未給付金額 八万円

②留萌広域行政組合の解散及び財産処理状況について

昭和四十六年管内九市町村で設立したが、地方分権の進展によって地域を取り巻く環境は大きく変化の時期にあり、更に、金利の低下による運用益の減少、地域面積の拡大による実情などから、今後のソフト事業の展開は難しいと考えられ、これらを考慮したとき広域行政政策は終えたものとし廃止することとした。

③苫前町一三〇年記念事業に係る基本方針案について

町は、明治十三年苫前村役場の設置を開基と定め、来年二月に一三〇年を迎える。  
この記念の節目を迎えるにあたり、先達の功績と労苦を偲ぶとともに、本町の更なる発展を期することを目的に記念事業を実施する。

④苫前厚生病院移転新築整備資金借入償還等補助金の繰上げ償還について

苫前厚生病院の移転新築整備に伴い、農業近代化資金（整備資金）を借入れし償還してきたが、この度繰上げ償還をする予定である。  
償還額 二億三、二六八万円



上平模範牧場

⑤道営草地整備事業（公共牧場中核型）について

上平地区共同利用模範牧場は、供用開始から三十四年が経過している。  
施設の老朽化、牧場内の草地の荒廃等により農協及び酪農協から畜舎の改築、草地改良などの要望書が提出されており、町として道営草地整備事業として行うよう支庁と協議を進めている。

## 臨海地域特別委員会

平成21年  
12月2日  
開催

①株式会社苫前町振興公社の解散について

平成二十一年十一月四日をもって当振興公社を解散した。

②清算人の選任について

森利男氏、岡田裕幹氏、菊地暢氏の三氏が清算人として選任された。

③第十一期第1四半期（四月～六月）の営業状況及び清算見込みについて

売上高は三、七七七万二千元で、売上原価を差し引いた売上利益は二、五二万四千元となり、販売費及び一般管理費を差し引いた営業利益はマイナス二、一三七万九千円で指定管理料等の営業外収益及び費用を入れて、当期欠損額は七二万九千円の見込みである。なお、前期からの繰越欠損金は九、一九九万五千円となっている。

## 臨時議会

平成21年  
11月2日  
開催

### 一般会計補正予算

新型インフルエンザワクチン  
接種費用の負担軽減で北海道よ  
り補助金が交付された。

補助金額 二八六万円

## 臨時議会

平成21年  
11月26日  
開催

### 専決処分の報告と承認

夕陽ヶ丘風力発電所(二号機)  
のブレード(羽根)の接合部が  
故障し、緊急に復旧修理が必要  
であり、議会を招集する時間が  
なく、専決処分とした。

修理費 二〇〇万円

### 特別職の給与に関する条例改正

特別職の期末手当を年間〇.  
三三三分減額するものである。

### 職員の給与に関する条例改正

職員の月額給料を平均〇.二  
%引き下げ、自宅に係る住居手  
当を廃止するものである。また、  
期末・勤勉手当を年間〇.三五  
月分減額した。

### 一般会計、特別会計補正予算

職員及び特別職の給与及び手  
当の条例改正に伴い、支給額及  
びこれに伴う予算の変更。

国民健康保険、介護保険、簡  
易水道、風力発電等の各特別会  
計にあつても、給与及び手当支  
給額の変更。

## 臨時議会

平成21年  
12月2日  
開催

### 一般会計補正予算

旧児童会館、町営住宅港団地  
の解体工事について、建設廃棄  
物として発生するコンクリート  
塊をリサイクル法にて再生利用  
を計画したが、北海道より指導  
があり、計画変更が生じ施工方  
法の変更に伴い、事業費の変更  
が生じた。

変更前 一、八七三万円  
変更後 二、一三四万円  
増額 二六一万円



児童会館解体工事の様子

## 長年の議員活動に栄誉

星野恭司町議会議長が全国町村議会議長会より議員三十年  
以上在職者として『全国町村議会議長会創立六十周年記念特  
別表彰』を受賞され、十二月十六日の定例議会開会前に伝達  
が行われた。

長年の議員活動へ  
の貢献に対して議場  
内からの拍手に、本人  
は照れながらの伝達  
式となったが、これま  
でのご苦労は計り知  
れないものがあつたの  
ではないでしょうか。  
おめでとうござい  
ました。



## 届け意見!!

政府に意見書を提出

「新たな食料・農業・農村基本計画に関する意  
見書並びに平成二十二年度個別所得補償モデ  
ル対策及び関連政策に関する意見書」

北海道農業は、国の政策目標に沿った構造改革を着実に推進して  
きたところである。

昨今、世界的・構造的な食料需給の逼迫による食料安全保障の懸  
念と原油・肥料・飼料価格などの生産資材の高騰に加え、世界的な  
経済悪化により国内需要が停滞し、十分な価格転嫁が図られず、農  
業経営が悪化し食料の安定供給への貢献に支障をきたしかねない状  
況にある。

このような中、新政権下において生産者が将来展望を持ち、安心  
して経営を継続できる政策の確立にむけて、要請するものである。

## 新春雑感

新年明けましておめでとうございます。省みますと昨年は明治、昭和以来の政権交代が行われました。日本丸の舵取りはどうなっていくのか。長い自民政権下の政治に慣れた国民は政権交代で、これほど変化するものかと戸惑いながらも大きな期待を抱いております。新政権も予算編成作業を進めていますが、疲弊しきった地方に負の影響がない事を望むところです。事業仕分けは様々な考え方はあろうと思いますが、斬新でわかりやすく喝采ものでした。本町にも政権交代で180度の方針転換があり、予算の執行停止を余儀なくされたものもでございます。

さて、2010年はどの様な年になるでしょうか。我が町も平和で実り多い年でありたい。町民の皆様には今年も昨年にして町政に高い関心を賜り、叱声と激励のほどを宜しくお願いいたします。

(渡部 記)